

## 令和3年度第1回千曲市行政改革推進委員会 会議録概要

- 開催日時 令和3年10月22日（金） 午前9時30分～午前11時45分
- 開催場所 千曲市役所3階 301会議室A
- 出席者 委員：7名  
総務部長  
説明員：11名（総務課長、税務課長、総合政策課長、管財契約課主幹、情報策課長、環境課長、市民課長、生活安全課長、地域開発推進室長、文化課長、スポーツ振興課長）  
事務局：3名（財政課長、財政課行政改革推進係長、財政課行政改革推進係主任）

### 1 開 会

### 2 あいさつ 総務部長

### 3 会議事項

#### (1) 第5次千曲市行政改革大綱・実施計画進捗状況報告書（案）について

[事務局より説明]

[質疑応答]

※各委員には事前に質問書を提出いただき、その回答も事前に送付済。質疑は再質問のみ受け付け。

【各種業務の民間委託の推進】

委員（質問）窓口業務の民間委託の可能性のある業務として、総務省から例示されている数を教えていただきたい。

財政課（回答）総務省から示されているのは27業務。

【全庁ネットワークの更改に合わせた業務効率化の進展】

委員（質問）庁舎の維持管理について、メンテナンス業者の選定が一番重要。最初に決めた1社に依頼していると競争原理が働かない。どのようにして業者選定の公正・透明性を確保しているのか。

総務課（回答）3年ごとにプロポーザル方式により業者選定を行っている。参加資格は物品購入等競争入札有資格者名簿に登録があり、且つ公共団体の類似施設の総合管理業務の実績があれば、全国の法人が基本的に応募できるようになっている。1期目は3社の応募があったが、2期目は

1社しか応募がなかった。

委員（質問）プロポーザルにおいて、どのようにして3社に絞るのか。

総務課（回答）プロポーザルの実施要領を作成し、ホームページで公開して公募している。その結果、応募していただいたのが3社であった。

委員（質問）年間の委託料の目安は示すのか。

総務課（回答）委託料の上限額を示している。

#### 【ふるさと納税の推進】

委員（質問）調達費全体の額は示せないのか。寄附金額から調達費を引かないと、実質の寄附金額が分からない。

総合政策課（回答）総務省のホームページで、日本全国の自治体の寄附金額や経費等の一覧表が掲載されている。出せる範囲で公開したい。

委員（質問）企業版ふるさと納税について、返礼品はないのか。

総合政策課（回答）返礼品はない。企業側のメリットは税制面で優遇される。

委員（質問）ふるさと納税については、返礼品の品目数の多さが重要だと思う。返礼品については制約があって増やすことは難しいかもしれないが、増加策があればいいと思う。

総合政策課（回答）品目数を増やせばよいとは一概には言えない。長野県内トップの伊那市の品目数は140程度で意外に少ないが、人気のある返礼品は、ポータブル電源やポータブルソーラーパネル。家電は寄附金額が大きくなる。千曲市でも家電を増やしていきたいと思っている。複合的に品目数を増やしつつ、人気の商品も増やしていきたい。

#### 【不動産（土地）及び不用物品の売却促進】

委員（質問）不動産の売却について、インターネットのシステムだけでは、売却手続きをしていることが市民に伝わらないのではないかと。掲示板等で公示することも検討してほしい。

管財契約課（回答）現在、土地の売却はインターネットのシステムでは行っていない。市のホームページには売却情報だけを掲載している。また、市報にも売却情報を掲載している。最近では市報9月号に掲載し、1件売却することができた。

#### 【人件費の削減】

委員（意見）500人の職員が日々無駄だと感じていることを受けられる組織風土であってほしい。改革を庁舎の中から生み出すことが大切だと思う。無駄な作業3項目の洗い出しを行い、それを受けてそれぞれの立場で何ができるのか考えることを前向きに取り組んでほしい。

【外部コンサルタントの費用対効果】

委員（意見）外部コンサルタントの委託費用ベスト 10 の合計額が1億円以上になる。専門性の高い業務や民間活力の導入という意味では必要だと考えるが、担当課において金額の公平性と透明性、成果の見える化等、評価を年度ごとに行って、これ以上外部コンサルタントが必要ないとすれば「無い袖は振れない」ということを意識して対応していただきたい。

財政課（回答）ご指摘いただいた件については、今後の業務の参考にさせていただく。

【歳入の確保】

委員（質問）八幡に開設された場外車券場の固定資産税（償却資産）について、ディスプレイ等が相当入っているの、税額として見込めるのではないか。

税務課（回答）固定資産税の税率は一律で1.4%となっている。毎年、事業者から償却資産の申告書を提出いただき、それに基づいて課税しているため、現時点では状況は分からない。仮に1億円の償却資産があれば、税率は1.4%なので固定資産税は140万円ということになるが、毎年減価償却していく。

委員（質問）事業者から売り上げの0.5%相当額が環境整備費として市へ交付されるということだが、0.5%の基準（根拠）はあるのか。

環境課（回答）環境整備費・基準は、法律で定められたものでも、義務付けられているものでもなく、あくまでも事業者と市との協定に基づくもの。

委員（質問）売り上げが想定より多かった場合、環境整備費の率の売上加算はあるのか。

環境課（回答）交付割合に変わりはない。

委員（意見）この問題については、住民の皆さんに対し、財政やバランスというものを明確にする必要があると思う。住民の皆さんとの意思疎通を図る際に、経済合理性というものを説明し、上手なコンセンサスの取り方が必要だと思う。

環境課（回答）市が環境整備費を受け入れるに際し、用途をどうするか理事者及び関係部署と協議を進めてきた。環境整備費の用途は明確にする必要があるの、専用の基金を設けて積み立てる予定である。何に使うのかは予算書で特定財源としてこの事業に充てるということが明確になる。様々な分野の環境整備に幅広く活用していきたいと考えている。例えば、施設ができることによって不安を感じている皆さんが、ここが問題だと感じる事があれば、その対策のための事業に使うことも考えられる。

[その他意見なし。原案のとおり承認]

(2) 第5次千曲市行政改革大綱・実施計画の改訂（案）について

[事務局より説明]

[質疑応答]

※各委員から事前に質問書の提出はなし。

[意見なし。原案のとおり承認]

(3) 千曲市公共施設等総合管理計画の改訂（素案）について

[事務局より説明]

[質疑応答]

※各委員には事前に質問書を提出いただき、その回答も事前に送付済。質疑は再質問のみ受け付け。

【人口推移と今後の見通し】

委員（意見）市の人口が30年後に41,000人になると推計されている。その時に千曲市に魅力があり、ここに戻ってこようと思ってもらえるような具体的な施策が必要ではないか。少なくとも50,000人を維持できるような人口動態を作り上げていくための施策が必要なタイミングにある。具体的な施策の計画を是非お願いしたい。

総合政策課（回答）第3次千曲市総合計画では、当面の目標として、2040年の人口を50,000人とすることを目指している。人口減少は、千曲市だけの問題ではなく、首都圏一極集中という日本全国の問題となっており、是正したとしても、日本の総人口は減少していく。政府も総人口が1億人を割らないようにという目標でやっている。千曲市は合計特殊出生率が低いですが、市外からの転入が多く、5年連続で社会増となっている。子育て支援施策に力を入れてやってきている。今後もそれを継続していくとともに、住んで良かったと思える千曲市を目指していく。人口を急に増やすことは難しいが、長期的な視点で取り組んでいく。

【千曲市公共施設再編計画の取り扱い】

委員（質問）上山田戸倉出張所の設置費用150万円の中に、人件費は含まれているか。

総務課（回答）人件費は含まれていない。

委員（意見）証明書の交付ができるコンビニが市内に23店舗あり、マイナンバーカードの普及率も33%となっている。弱者を切り捨てるということではないが、1日あたりの利用が20件程度で、出張所の人件費や

光熱水費まで考えると、この施設を稼働していくことと行財政改革が合致するのか。行革の根本がどこにあるのかということ。地域要望ならなんでもやるのではなく、理解を得ながら行革を進めていかなければいけないということを検討課題としてほしい。1日20件では、職員のモチベーションも上がらない。

総務課（回答）上山田地区の方にとっては、旧上山田庁舎は拠り所であった。それが激変緩和もなく急に廃止したことが、感情的に取り残されたと感じられているのだと思う。今後ご指摘いただいたとおり、利用状況を見ながら、職員配置も含めて検討したい。

委員（意見）この件については、前任の委員も一番の課題として取り組んできた。3庁舎が1つになったら旧庁舎を廃止しなければ意味がないという経緯でやってきたということは事実。説明不足な点があるなら、その点を検証してみる必要があると思う。

[その他意見なし。原案のとおり承認]

#### 4 その他

##### 【その他意見】

委員（意見）行革は大事なことだが、ポイントによっては、それがために千曲市民の命と安全が奪われてしまう。例えば、コロナにより国中で保健所や医療関係の問題が出た。台風災害もあった。ハザードマップを見ると千曲市は水害と同時に土砂災害の危険がある。行政改革の基本的な柱を、命と暮らしを守るという観点で見ることが大事だと思う。行政としてその柱を忘れずをお願いしたい。

財政課（回答）命と暮らしを守る「安全・安心」は、市政運営で一番大事なことだと思っている。行政改革も念頭に置きながら、これからの市政運営を行っていく。

#### 5 閉 会